

東京ステーションホテルがフランスのラグジュアリーフレグランスブランド
「HISTOIRES de PARFUMS」とアジア初のコラボレーション

オリジナルバスアメニティ「Est. 1915」を導入

クリスマス特別宿泊プラン「香りの記憶」を、ホテル開業記念日から販売！



オリジナルバスアメニティのイストワール ドゥ パルファン「Est. 1915」イメージ

東京駅丸の内駅舎の中に位置する東京ステーションホテル(所在地:東京都千代田区丸の内 1-9-1)は、フランスのフレグランスブランド「HISTOIRES de PARFUMS(イストワール ドゥ パルファン)」と世界のホテルで3番目、アジアで初めてコラボレーションしました。このプロジェクトで誕生したのが、“ホテルアウトクチュールの香り”のバスアメニティ・イストワール ドゥ パルファン「Est. 1915(エスト イチキュウイチゴウ)」です。10月1日(火)からスイートルーム以外の全客室に設置し、11月からクリスマス特別宿泊プランを販売します。

イストワール ドゥ パルファンは、調香師のジェラルド・ギスラン氏が立ち上げたフランスの香水ブランドです。「香りの物語」というブランド名の通り、歴史やストーリーを香りで表現した“肌で読む本”をコンセプトにコレクションを展開しています。そのユニークな発想と卓越したクラフトマンシップによって独創的で記憶に残るパフュームを生み出し、成熟した香水文化を有するフランスでも一目置かれる存在です。

東京ステーションホテルは同ブランドから「百年以上の歴史を有するホテルの、“歴史の香り”を創りたい」とのオファーを受け、ホテルの「お客様にストーリーをお届けする」ブランド理念と合致することからコラボレーションを決定。プロジェクトチームは客室に実際に泊まって使い心地を幾度もテストし、お部屋での香りの強さや広がり、テクスチャー、サイズ、ボトルデザインを一切妥協せず開発に取り組みました。1年以上かけて完成したのが、ホテル開業年を冠したイストワール ドゥ パルファン「Est. 1915」です。香りは記憶と深く結びつくといわれています。体を包むここだけの香りが、東京ステーションホテルでの滞在を記憶に残るひとときへと誘います。

東京ステーションホテル総支配人の藤崎齊は次のように述べています。「お客様にとってバスアメニティは非常に重要なエレメントになっています。かねてより当ホテルと価値観を共感しあえるブランドパートナーを探していたところ、イストワール ドゥ パルファン様からオファーいただき大変光栄に感じました。ジェラルド・ギスラン氏が調合した香りはヨーロピアンクラシックのホテル空間にふさわしく、エレガントでいてセンシュアルな芳香です。Est. 1915 はノスタルジックな想いも重なり、お客様にご支持いただけると確信しております。」

ギスラン氏は「アジアで最初のパートナーとして、東京の玄関口に位置する東京ステーションホテルとコラボレーションできたことを大変嬉しく思います。Est. 1915 は時代を超えて存在するこのホテルとその当時の日本をイメージして、原料の質と配合のバランスにこだわりました。Only One のこの香りに多くのお客様が魅了されるでしょう。」とコメントしています。

コラボレーションを記念し、イストワール ドゥ パルファンで人気の高い香水「1969」を特別にプレゼントするクリスマス宿泊プラン「香りの記憶」を、ホテルの節目である開業記念日の11月2日(土)から販売します。

イストワール ドゥ パルファン「Est. 1915」の特徴

- ・10月1日からスイートルームを除く全134室に設置。
- ・使用するとドラマティックに香りに変化。始めは当時の時代の活気をイメージして柑橘系のマンダリンやレモンがふわりと香り、クラシカルなホテルを彷彿とさせるベルガモットの上品な香りに包まれます。その後ほのかに甘くエキゾチックな月下香の香りに変化し、最後にプロンドウッドとホワイトムスクの落ち着いた芳香が余韻となっておだやかに漂います。
- ・“歴史の香り”という意味を込めて、ホテル創業年である1915年をネーミング。
- ・東京駅に位置するホテルとして、ボトルサイドのラベルは「切符」を模したデザインに。
- ・ラインナップはシャンプー、コンディショナー、ボディソープ、ボディーローション（各35ml）と、石鹸(30g)の全5種。＊ホテル web サイト：<https://www.tokyostationhotel.jp/event/originalbathamenity1915/>



クリスマス特別宿泊プラン「香りの記憶」

今回のコラボレーションを記念して、官能的な香りでロングセラーのイストワール ドゥ パルファンの香水「1969」を特別にプレゼント。イストワール ドゥ パルファン Est. 1915 のバスアメニティとともに、五感に心地よく響く“香りの世界”を存分にお楽しみいただけます。そのほか前回10日で完売になったチャリティオーナメントや、ハーフボトルシャンプーニューもセットに。この香りの体験によって、フェスティブシーズンのひとときが忘れられない「記憶」となります。

宿泊プラン名：「香りの記憶」

販売開始： 2019年11月2日(土)～

販売期間： 2019年12月1日(日)～12月25日(水)

Web サイト：https://www.tokyostationhotel.jp/stay/plans/details/xmas2019_histoires-de-parfums/

客室タイプ： バスサイドスーペリアツイン(40平米)など

価格： 1室2名様 78,102円～（消費税・サービス料・宿泊税込）

- 特典：
- ・イストワール ドゥ パルファンのオードパルファム「1969」(15ml)をプレゼント(ご人数分)
 - ・クリスマスチャリティオーナメント(ご人数分)
 - ・ハーフボトルシャンプーニュー1本
 - ・ゲストラウンジ(アトリウム)での朝食ブッフェ(ご人数分)



「1969」イメージ

HISTOIRES de PARFUMS イストワール ドゥ パルファン 概要

シェフからキャリアをスタートしたジェラルド・ギスランは、パリの本格的な調香師育成学校のISIPCA(インターナショナル パフューム インスティテュート)を卒業後、2000年に自らイストワール ドゥ パルファンを設立。「香りの物語」というブランドネームのもと、物語を香りで表現するコレクションを展開。そのユニークな存在から、香水文化が成熟しているフランスでも一目置かれるラグジュアリーフレグランスブランドです。世界の高級ホテルを格付けしている「フォーブス・トラベルガイド」のオフィシャルバスアメニティプロバイダーの「La Bottega(ラボッテガ)」が、イストワール ドゥ パルファンとバスアメニティのライセンス契約をしている事も、同ブランドの商品クオリティの高さを物語っています。



東京ステーションホテル 概要

1915年、東京駅の中に客室数56室、宴会場を備えたヨーロッパスタイルのホテルとして開業。壮麗な建築と当時最先端の設備で、国内外の多くの賓客を迎える。東京駅丸の内駅舎の保存・復原事業に伴い2006年に休館。約6年半の時を経て全施設を改装し、2012年10月3日に再び開業。ヨーロッパクラシックを基調とした150の客室、10のレストラン&バー、フィットネス&スパ、宴会場など、都市型ホテルとしての機能を備え、「色褪せることのない記憶」をコンセプトにお客様の心に寄り添い“共感するおもてなし”を目指す。東京で現存するホテルとしては2番目に歴史があり、国指定重要文化財の中に宿泊できるホテルとして国内唯一。また、発着列車本数日本一の東京駅舎に位置し、首都圏はもちろん日本各地への移動にも便利で他に類を見ない理想的なロケーションを誇る。

